



株式会社セブン&アイ・ホールディングス
2014年2月期 決算説明会

2014年4月4日
株式会社セブン&アイ・ホールディングス

2014年2月期 実績

連結決算概要

- 営業利益は3期連続最高益となり、国内小売業では初の3,000億円を突破

	14/2期実績			
	金額	前期比	前期増減	計画差異
グループ売上*	95,978億円	112.8%	+10,902億円	+378億円
営業収益	56,318億円	112.8%	+6,401億円	▲81億円
営業利益	3,396億円	114.9%	+439億円	▲3億円
当期純利益	1,756億円	127.3%	+376億円	+56億円

PL為替換算レート: U.S.\$1=97.73円(前年差:17.92円 円安)

*グループ売上: セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.におけるチェーン全店売上を含めた数値



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

1

事業セグメント別営業利益

- 主にコンビニエンスストア事業と金融関連事業が牽引

	14/2期実績			
	金額	前期比	前期増減	計画差異
連結営業利益	3,396億円	114.9%	+439億円	▲3億円
コンビニエンスストア	2,575億円	116.1%	+357億円	+85億円
スーパーストア	296億円	116.4%	+41億円	▲99億円
百貨店	65億円	82.1%	▲14億円	▲23億円
フードサービス	6億円	83.7%	▲1億円	▲7億円
金融関連	449億円	120.0%	+74億円	+35億円
その他	21億円	55.7%	▲17億円	▲18億円



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

2

主要事業会社の営業利益

●セブン-イレブン・ジャパンと7-Eleven, Inc.は過去最高益を達成

	14/2期 実績				
	金額	前期比	前期増減	計画差異	備考
セブン-イレブン・ジャパン	2,127億円	113.9%	+260億円	+77億円	3期連続最高
7-Eleven, Inc.	512億円	134.1%	+130億円	+15億円	2期連続最高
イトーヨーカ堂	112億円	124.7%	+22億円	▲55億円	荒利率の改善
ヨークベニマル (LF*込み)	165億円	106.3%	+9億円	▲22億円	増益確保
そごう・西武	101億円	101.0%	+1億円	▲18億円	増益確保

*ライフフーズ(LF)・・・主にヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社

(注) YB+LFの営業利益は管理上の数値であり、参考値であります。

 セブン&アイ HLDGS.

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

3

2015年2月期 計画

連結業績計画

●増収増益を計画

	15/2期計画		
	金額	前期比	前期増減
グループ売上*	102,000億円	106.3%	+6,021億円
営業収益	61,300億円	108.8%	+4,981億円
営業利益	3,560億円	104.8%	+163億円
当期純利益	1,840億円	104.7%	+83億円

PL為替換算レート:15/2期予想 102.00円(前年差:4.27円 円安)

*グループ売上:セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.におけるチェーン全店売上を含めた数値



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

4

連結業績計画：事業セグメント別営業利益

●すべての事業セグメントで増益を計画

	15/2期計画		
	金額	前期比	前期増減
連結営業利益	3,560億円	104.8%	+163億円
コンビニエンスストア	2,700億円	104.8%	+124億円
スーパーストア	328億円	110.6%	+31億円
百貨店	82億円	124.4%	+16億円
フードサービス	13億円	215.2%	+6億円
金融関連	475億円	105.8%	+25億円
通信販売	▲47億円	-	-
その他	37億円	170.8%	+15億円



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

5

連結業績計画：主要事業会社の営業利益

●主要会社全社増益を計画

	15/2期計画		
	金額	前期比	前期増減
セブン-イレブン・ジャパン	2,190億円	102.9%	+62億円
7-Eleven, Inc.	587億円	114.6%	+74億円
イトーヨーカ堂	130億円	115.7%	+17億円
ヨークベニマル (LF*込み)	167億円	101.0%	+1億円
そごう・西武	120億円	118.3%	+18億円

*ライフフーズ(LF)・・・主にヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社

(注) YB+LFの営業利益は管理上の数値であり、参考値であります。



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

6

事業セグメント別設備投資計画

●コンビニエンスストア事業中心に成長機会を積極的に追求する

	15/2期計画		
	金額	前期比	前期増減
連結設備投資	3,950億円	117.3%	+582億円
コンビニエンスストア	2,380億円	120.4%	+402億円
スーパーストア	730億円	109.5%	+63億円
百貨店	162億円	103.9%	+6億円
フードサービス	28億円	123.0%	+5億円
金融関連	460億円	117.0%	+66億円
通信販売	30億円	-	-
その他	60億円	79.3%	▲15億円
全社	100億円	131.8%	+24億円



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

7

主要事業会社の設備投資計画

●成長への出店投資と既存店の活性化投資

	15/2期計画		
	金額	前期比	前期増減
連結設備投資	3,950億円	117.3%	+582億円
セブン-イレブン・ジャパン	1,450億円	116.6%	+206億円
7-Eleven, Inc.	905億円	112.8%	+103億円
イトーヨーカ堂	495億円	103.2%	+15億円
ヨークベニマル	115億円	107.5%	+8億円

【ご参考】 主要事業会社の決算概況

コンビニエンスストア事業：実績①

セブン-イレブン・ジャパン



既存店売上の伸長と荒利率の改善により過去最高益を達成

	実績	前期比
営業利益	2,127億円	113.9% +260億円
既存店売上伸び率	+2.3%	
商品荒利率	30.7%	+0.7%

概況

- 出店：過去最高1,579店（純増数：+1,247店）
- 既存店売上：『セブカフェ』やデイリー商品の好調により+2.3%を達成（計画：+1.3%）
- 商品荒利率：+0.7%と計画（+0.5%）を上回る改善



(注)SEJの既存店売上伸び率は、2014年2月期より新基準で開示しております

セブン&アイ HLDGS.

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

9

コンビニエンスストア事業：実績②

7-Eleven, Inc.



商品売上の伸長とガソリン荒利率の増加に加え、為替の円安影響により増益

	実績	前期比
営業利益	512億円	134.1% +130億円
米国内既存店商品売上伸び率(ドルベース)	+1.0%	
商品荒利率	34.8%	▲0.4%

概況

- 既存店商品売上：+1.0% FF、スナック、アルコール飲料などが牽引して伸長
- 荒利率：▲0.4% FF、スナックが押し上げに寄与もタバコや買取店舗の影響によりマイナス
- 出店：自前での出店を中心に462店舗
- 為替影響：約+94億円(円安による営業利益への影響額)



セブン&アイ HLDGS.

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

10

コンビニエンスストア事業：15/2期の計画

セブン-イレブン・ジャパン

営業利益:2,190億円(前期比102.9% 前期差+62億円)

	計画[前期比]	備考
チェーン全店売上	40,000億円[105.8%]	既存店の改善と新店による伸長
既存店売上伸び率	+1.0%	内、タバコ影響: ▲1.0%
商品荒利率	31.0%[+0.3%]	内、タバコ影響: +0.2%
店舗数	17,519店[+1,200店]	出店1,600店、閉店400店

7-Eleven, Inc.

営業利益:587億円(前期比114.6% 前期差+74億円)

	計画[前期比]	備考
チェーン全店売上高	28,430億円[107.6%]	既存店の改善と新店による伸長
米国内既存店商品売上伸び率	+2.3%	営業力強化と改装効果
商品荒利率	35.0%[+0.2%]	ファストフードとPB商品の強化
店舗数	8,622店[+330店]	出店450店 閉店120店

スーパーストア事業：実績①

イトーヨーカ堂



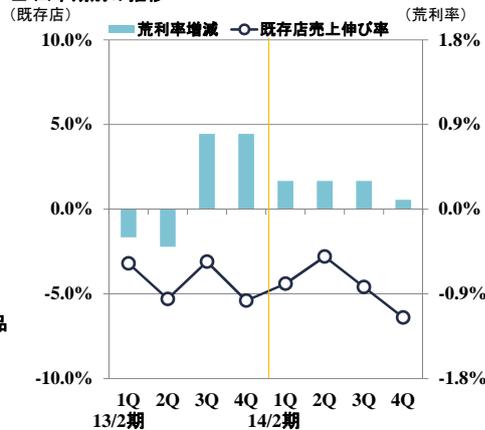
構造改革の推進とPB商品強化による荒利率改善により増益

	実績	前期比
営業利益	112億円	124.7% +22億円
既存店売上伸び率	▲4.6%(▲3.3%*)	
商品荒利率	30.2%	+0.3%

概況

- 既存店売上:天候影響や販促方法の見直しによりマイナス
- 荒利率: PB商品の構成比増加により、衣料・住居・食品ともに改善
- 販管費:既存店ベースでは、約▲4%の削減

■ 四半期別の推移



*SC合計の既存店売上伸び率

スーパーストア事業：実績②

ヨークベニマル

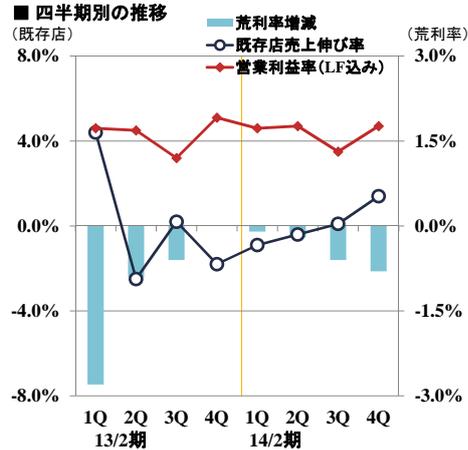


売上の改善と既存店の経費削減により増益を達成

	実績	前期比
営業利益	127億円	107.3% +8億円
既存店売上伸び率	+0.1%	
商品荒利率	25.6%	▲0.4%
営業利益 (ライフフーズ込み)*	165億円	106.3% +9億円

概況

- ・ 既存店売上：生鮮を中心とした生活提案型の売り方強化 ⇒ +0.1%
- ・ 売上高：11店舗の出店により、+4.7%の増収
- ・ 荒利率：頻度品を中心とした価格対応などにより若干のマイナス



*ライフフーズ(LF)・・・主にヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社

(注) YB+LFの営業利益は管理上の数値であり、参考値であります。

セブン&アイ HLDGS. 13

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

スーパーストア事業：15/2期の計画

イトーヨーカ堂

営業利益：130億円（前期比115.7% 前期差+17億円）

	計画[前期比]	備考
売上高	12,653億円[98.8%]	—
既存店売上伸び率	▲3.0%	引き続き厳しい環境を見込む
商品荒利率	30.5%[+0.3%]	PB商品の開発強化により改善を見込む
店舗数	181~188店[+2~+9店]	出店7~12店(大型SC 1店他)、閉店3~5店

ヨークベニマル

営業利益：128億円（前期比100.7% 前期差+0.8億円）

※ライフフーズ込み営業利益：167億円（前期比101.0% 前期差+1億円）

	計画[前期比]	備考
売上高	3,920億円[104.6%]	既存店の伸長と新店の寄与
既存店売上伸び率	+0.2%	平日強化および生鮮食品強化による差別化
商品荒利率	25.8%[+0.2%]	生鮮食品の管理とPB商品の販売強化
店舗数	199店[+6店]	出店8店、閉店2店

セブン&アイ HLDGS. 14

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

百貨店事業：実績

そごう・西武



基幹店舗を中心とした既存店が好調に推移し、営業利益は増益を確保

	実績	前期比
営業利益	101億円	101.1% +1億円
既存店売上伸び率	+1.2%	
商品荒利率	24.8%	▲0.1%

概況

既存店売上: +1.2%

商品 ⇒ 高額品と自主企画商品が好調

店舗 ⇒ 池袋本店を中心に基幹店が伸長

- ・荒利率: 低荒利率の高額品売上伸長により、▲0.1%
- ・販管費: 前期2店舗の閉鎖による削減
既存店ベースでも抑制



百貨店事業：15/2期の計画

そごう・西武

営業利益: 120億円 (前期比118.3% 前期差+18億円)

	計画[前期比]	備考
売上高	8,030億円[101.7%]	—
既存店売上伸び率	+1.7%	・基幹店を中心とした改善を見込む
商品荒利率	25.0%[+0.2%]	・「リミテッド・エディション」を中心とした自主企画商品の取り組み強化
店舗数	24店[±0店]	—

本資料には、当社の本資料発表日時点における計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。